

第44回　「MCP: Advanced Topics」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

知らせの実演

公式の教材を、順番に

原石工房
隠れた才能に気づき、花開く

この資料について

原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）MCP: Advanced Topics ／ Notifications walkthrough

この回も、画面の中で1段ずつ追う形の教材です

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

全51回の、今日はここ

原石工房

Claude Code 101 — 第1回〜第12回

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Claude Code in Action — 第13回〜第21回

13 14 15 16 17 18 19 20 21

スキル — 第22回〜第27回

22 23 24 25 26 27

手分け（subagents） — 第28回〜第31回

28 29 30 31

MCP 入門 — 第32回〜第40回

32 33 34 35 36 37 38 39 40

MCP 応用 — 第41回〜第51回

41 42 43 **44** 45 46 47 48 49 50 51

今日はここ　第44回

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

今日のレッスン

MCP: Advanced Topics の第4回

原題　Notifications walkthrough

訳　知らせの実演

前回の知らせを、実際にどう書くのかを4段で追います

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

① 4つの段

原石工房

原題 Tutorial Steps



4つの段で、知らせができている

道具の働きは、最後の引数として Context を自動で受け取ります

見本は足し算の道具。わざと2秒の待ちが入れてあります

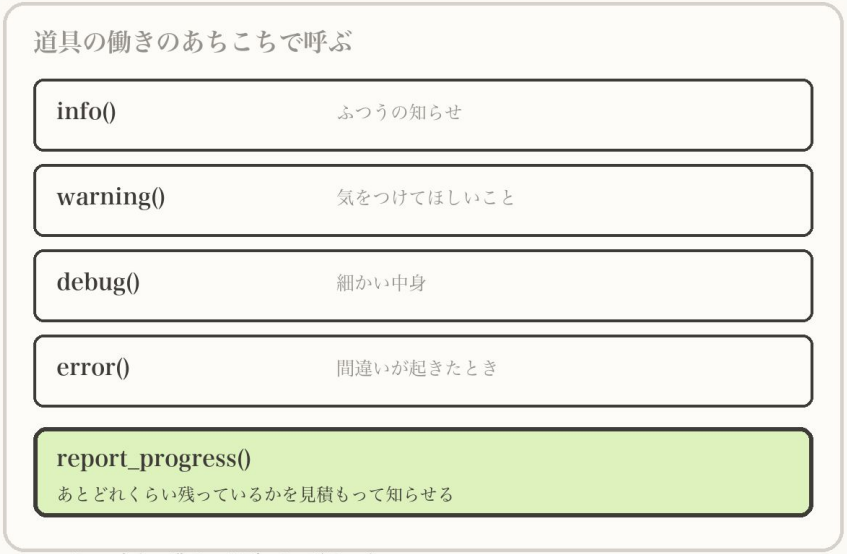
その2秒のあいだに、知らせが2回出ます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

② 記録は4種類、進み具合は1つ

原石工房

原題 Create logs and progress with context



info、warning、debug、error の4つを使い分けます

report_progress で、あとどれくらい残っているかを知らせます

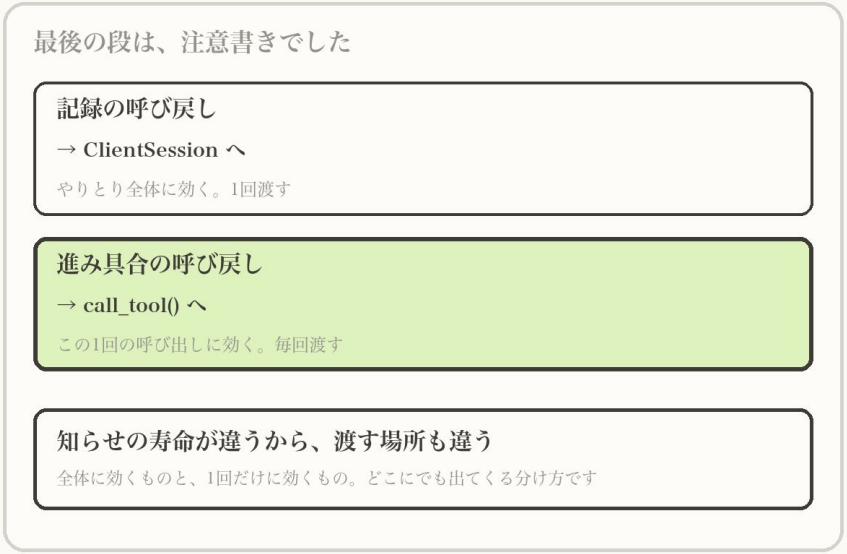
仕事の区切りごとに、1行ずつ足します

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

③ 渡し先が、違う

原石工房

原題 Pass callbacks to appropriate functions



取り違えやすいところ

記録の呼び戻しは ClientSession へ。1回渡します

進み具合の呼び戻しは call_tool へ。毎回渡します

知らせの寿命が違うから、渡す場所も違います

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

2秒の待ちが、教えてくれること

原石工房

見本の道具は、足し算に2秒の待ちを入れてあります

本当の仕事ではありません。知らせを見せるためだけの2秒です

その2秒のあいだに、知らせが2回出ます

↓

実際に使う道具なら、その2秒が30秒にも5分にもなります

そのあいだ画面が黙っていると、使う人は「壊れた」と思う

わざわざ待ちを入れた見本を作ったのは、
黙っている時間がある、ということ自体を見せたかったからだと思います

黙っている時間を、わざと作って見せる

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　残るものと、移るもの

原石工房

ここから先は原文にありません



進み具合だけが、そのまま残る

report_progress は、そのまま残ります

info・warning・debug・error は、外の仕組みへ移ります

同じ ctx. で並んでいるので、分けて覚えておきます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　なぜ、渡し先が分かれているのか

原石工房

記録は、この相手とのやりとり全体に対するものです

進み具合は、いま呼んだこの1回に対するものです

全体に効くものと、1回だけに効くもの。どこにでも出てくる分け方です

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　2秒は、本当の仕事ではありません

原石工房

知らせを見せるためだけに、わざと入れた待ちです

実際の道具なら、その2秒が30秒にも5分にもなります

黙っている時間がある、ということ自体を見せたかったのだと思います

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

今回のまとめ



原石工房

道具の働きは、Context を自動で受け取ります

記録は ClientSession へ、進み具合は call_tool へ渡します

非推奨は記録のほうだけ。report_progress は残ります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/notifications-walkthrough ／ 非公式の日本語訳

待っているあいだ、何が見えていますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く